

高木仁三郎市民科学基金 助成研究/研修 完了報告書

提出日：2009年5月3日

1. 氏名・グループ名及び研究テーマ

氏名(グループ名)	加藤晶子(彩の国資源循環工場と環境を考えるひろば)
連絡先・所属など	TEL/FAX 048-581-5843
調査研究・研修のテーマ	彩の国資源循環工場による環境汚染調査

2. 調査研究・研修結果の概要

対象とする「彩の国資源循環工場」などのある三ヶ山周辺には、いくつか埼玉県民、東京都民の飲料水源となる荒川に流れ込む川があり、影響をすでに受けているであろう川(塩沢川・吉野川)、これから受けるであろう川(五の坪川支流)、今後も影響を受けない川(五の坪川上流・山居川)、別の影響を受けるであろう川(三品川)の水質を、パックテスト、電気伝導度、水生昆虫などの指標生物により調べる。

また、周辺の湧水の水質から、三ヶ山に埋め立てられている「環境整備センター」からの影響を見ることにより、今後埼玉県の行う「彩の国資源循環工場 第 期事業」への影響を予測する。

対象が複雑なので、まだしっかりした成果は出ていないが、三ヶ山を上流とする塩沢川、吉野川の水質はかなり良くないことがわかった。

3. 調査研究・研修の経過

- ・ 2月「水生昆虫・水質測定(電気伝導度計・パックテスト)」
- ・ 3月「水質調査 内部学習会」関口鉄夫氏を招聘
- ・ 6月「彩の国資源循環工場をめぐる地質・水質調査」学習会 講師：関口鉄夫氏
- ・ 7月「水生昆虫・水質測定(電気伝導度計・パックテスト)」
- ・ 8月「水質調査のための現地調査・学習会」講師：関口鉄夫氏
「自然観察探索会」講師：(財)埼玉県生態系保護協会
「水質測定」(電気伝導度計・パックテスト)
- ・ 9月「湧水探索会」 講師：関口鉄夫氏
「水質測定」(電気伝導度計・パックテスト・公定法)
「土壌調査」(公定法)
- ・ 10月「井戸水水質調査」(電気伝導度計)
「水質測定(電気伝導度計・パックテスト)」
- ・ 11月「水生昆虫・水質調査(電気伝導度計・パックテスト)」
「水質調査結果を読み解く会」学習会 講師：関口鉄夫氏
- ・ 2009年1月「湧き水探索会」 講師：関口鉄夫氏
「水質測定(電気伝導度計・パックテスト)」
- ・ 2月「湧き水探索会 part2」 講師：依田彦三郎氏
「水質測定(電気伝導度計・パックテスト)」
- ・ 3月「湧き水探索会 フォローアップ」 講師：依田彦三郎氏
「水質測定(電気伝導度計・パックテスト)」

4. 調査研究・研修の成果

しっかりした成果というものは、まだ見えて来ていないように感じるが、今までの調査活動の中で、見えてきたことは、

- ・ 産業廃棄物処理施設群「彩の国資源循環工場」と埼玉県 の 廃棄物埋立て処分場「環境整備センター」のある三ヶ山を上流とする塩沢川と吉野川の水質は良くない。
- ・ しかし、吉野川（不法投棄埋立ても上流にある）には、水生昆虫が多く生息しているのは、川の護岸環境が影響しているように感じる。自然の護岸なので、植生などもしっかりしているのに、悪い水質にもかかわらず、生き物が棲息できると思われる。
- ・ 吉野川の湧水と土壌の重金属類を公定法にて測定したが、ほぼ問題ない数値とのことだが、かすかに土壌に出た重金属類が、不法投棄埋立てによるものなのか、三ヶ山の廃棄物埋立てによるものなのか、それとも自然のものなのかは不明。
- ・ 塩沢川については、上流・中流（環境整備センターからの処理水が流れ込む）とも、水質・生き物両方の面で、最悪の環境。さらにごみ不法投棄があり、さらに悪化させている。
- ・ 今後が心配な「彩の国資源循環工場 第 期事業予定地」を上流とする五の坪川支流は、今の所水質・生き物とも良い環境。
- ・ 三品川も、寄居町を含む大里広域の廃棄物埋立て処分場が上流にあり、心配なので今後のため調査しているが、今の所水質・生き物とも良い環境。
- ・ コントロールデータとして、五の坪川上流と山居川を調査している。
五の坪川上流は、3軒ある上流からの生活排水の影響はあると思われるが、水質・生き物とも良い環境。山頂の鍾乳洞からかpH、電気伝導度に影響あり。
山居川の山頂は採石場があるが、この影響は不明。さらに集落が2つあるので、生活排水の影響を、水質に受けているが、生き物は多数・多種類生息。（今後、この川をコントロールデータとしていいかどうか再考の必要あると思われる）
- ・ 三ヶ山周辺の湧き水を調査し、多数発見し、水質測定した。多くは非常によい数値。いくつか少し高い値がみられるが、これか近くにある不法投棄によるものか、三ヶ山の廃棄物埋立てによるものかは不明。

今後、これらをどうするか、外部協力者の指導を仰ぎたい。

5. 対外的な発表実績

- ・ 3月「彩の国資源循環工場 効果検証」について埼玉県、寄居町議会三ヶ山地域開発調査特別委員会、寄居町環境連合協議会、折原地区環境対策協議会、折原地区 寄居町町議会議員、五ノ坪地区 区長へ意見書提出
- ・ 4月「彩の国資源循環工場と環境を考えるひろば 活動報告会」
- ・ 5月「彩の国資源循環工場 第 期事業計画地の断層について」要望書を寄居町議会三ヶ山問題特別対策委員会、五の坪地区区長宛に提出
- ・ 7月 高木基金主催「廃棄物処理施設・処分場問題」発表会で発表
- ・ 9月「彩の国資源循環工場 第 期事業での埋立処分場計画の凍結について」埼玉県議会へ陳情書 提出
- ・ 10月 彩の国資源循環工場第 期事業を考える会・埼玉県市民ネットワーク・生活クラブ生協熊谷ブロック環境委員会 共催「ごみは環境の基本」広瀬立成さん講演会 + 「埼玉県はごみ流入日本一」報告会で彩の国資源循環工場について報告
- ・ 11月「彩の国資源循環工場 第 期事業 環境アセス計画書」意見書提出
- ・ 12月「彩の国資源循環工場 第 期事業での廃棄物埋立処分場計画の凍結を求める要望書提出の陳情」陳情書を寄居町、寄居町議会へ提出
「彩の国資源循環工場第 期事業での廃棄物埋立処分場計画の凍結を求めます」陳情書を埼玉県、埼玉県議会へ提出
- ・ 2009年3月 生活クラブ生協「生活と自治」3月号へ彩の国資源循環工場について掲載

6. 今後の展望

- ・ まだ、はっきりとした成果が出ていないので、調査活動を続ける必要があると思われる。パックテストで慎重に調査ポイントを見極め、高額な公定法での測定について、いつ行うかを、外部協力者の指導を仰ぎながら行いたい。
- ・ 現在、埼玉県が計画し、2月の予算委員会で予算化された「彩の国資源循環工場 第 期事業」について、今までの調査結果から導きだされた客観的なデータをもとに、埼玉県や県議会、寄居町、寄居町議会、環境対策協議会等へ報告、要望書などを提出したい。
 - ・ 研究発表をする場を設け、会員、関係団体、地元の皆さん、県の記者クラブへ報告したい。

高木基金へのご意見

今回、助成を受けることによって、科学的アプローチが足りなかった部分が大幅に改善され、とても感謝しています。しかしながら、まだ素人の領域を出ず、思い込みや一方的な解釈を避けるため、多くの方の協力をいただきながら、少しずつ進んでいる状況です。

7. 完了報告 英文概要

Recipient Name	Akiko kato(the place thinking about the Sainokuni-resource of circulation factories)
Belonging / Contact Address < 公表可能な問い合わせ先・ メールアドレスなど >	Tel/Fax 048-581-5843
Theme of Research/Training	Environmental investigation about the Sainokuni-resource of circulation factories
Name of the Organization Providing Training < 研修の該当者のみ >	

< 以下の空欄に前記 2 . に対応する内容を英文で記載して下さい。 >

< 以上です。ご協力ありがとうございました。 >